

# きよたまちづくり区民会議通信

第9号  
(H28年2月発行)



発行元 きよたまちづくり区民会議（事務局：清田区市民部地域振興課）  
〒004-8612 札幌市清田区平岡1条1丁目 電話011-889-2024

## 「第2回きよたまちづくり区民会議」を開催します！

今年度2回目となる区民会議を開催します。どなたでも傍聴することができますので、直接会場へお越しください。

日時 平成28年3月1日（火）18：00～20：00

場所 清田区役所 3階 大会議室

- 議題 ①平成27年度の振り返り
- ②平成28年度のテーマとスケジュール
- ③20周年記念事業の検討（清田区は平成29年に20周年を迎えます）



▲第1回区民会議の様子

## 平成27年度は2つの事業を実施しました！

### ① きよたマルシェ～にぎわい収穫市～(平成27年9月12日)

地産地消の推進・食によるきよたブランドづくりを目指して、「きよたマルシェ」を開催しました。2回目となる今回は、清田区内外から約2,000人が訪れ、会場の清田区役所前の広場周辺はにぎやかな一日となりました。JA さっぽろ初となる「軽トラ市」では、自慢の農産物を山積みした軽トラックが9台並び、時間前から並び区民の姿も。たくさんの種類の野菜の中でも特産のほうれん草「ポーラスター」は開始1時間を待たずに売切れる人気っぷり！販売していた農家さんもびっくりでした。

軽トラ市のほかにも、地元企業・団体などが出店！地元農産物を使った軽食や、きよたスイーツを食べながら、ステージイベントを楽しみ、ゆっくりくつろぐ人の姿が多くみられました。今年も9月に開催する予定ですので、お楽しみに！



▲大好評の野菜販売



▲その場で食べられる地元野菜！



▲きよっち&QooのO×クイズ



▲取れたらもらえる野菜の輪投げ！



## ② 清田区民フォーラム(平成 27 年 10 月 24 日)

清田区は平成 29 年度に、20 周年を迎えます。そこで今年度は、きよトーク 2015「ネクストきよたを描こう」と銘打ち、これからの清田区について、参加者が考えるワークショップを開催しました。会場となった区民センターのホールでは、約 130 人の参加者がそれぞれの立場を超えて意見を出し合いました。オープニングは、札幌国際大学の劇団テアトロの演劇とダンス。病院の待合室で昔話をする姿に、うなずきながら見る方も多く、大好評のうちに幕となりました。町内会応援隊の活動報告は、孫の様な大学生の活躍に、温かい拍手が寄せられました。きよたスイーツとコーヒーで休憩した後は、これまでの清田区の歩みを振り返りました。意見交換では、4 つのブースに分かれてそれぞれの思いを語り、最後に、これから目指すべき清田区を会場の皆さんで共有しました。

来年度は、これらの意見をもとに、20 周年に向けた事業を検討していきたいと考えています。

プログラム		概要
開会あいさつ		区民会議議長 飯田淳二(北野連合町内会会長)
第一部	演劇	「きよたの歴史」札幌国際大学劇団テアトロ
	清田区町内会応援隊活動中間報告	札幌国際大学プロジェクト演習 飯田チーム
休憩		(きよたスイーツ・コーヒーの提供)
第二部	情報提供	清田の軌跡
	アイディアトーク	ネクストきよたを描こう! 4 グループに分かれて意見交換
	まとめ	全体進行による全体の意見のまとめを発表
講評・閉会あいさつ		札幌市清田区長 新谷 光人



### 第1部 【演劇：きよたの歴史】

札幌国際大学 劇団テアトロ

協力：Chiho Dance Area 赤川智保モダンバレエスタジオ

清田区地域の歴史をテーマにした、書下ろしの台本による演劇を上演しました。病院の待合室で高齢者が昔話を始めるのですが、患者の名前は、平岡さん・有明さん・北野さん…。ちなみに、診察する先生の名前は清田先生です。祖父母に聞いた開拓時代の話、水田やリンゴ畑が広がる様子、水がきれいでもカカ・コーラが工場を建てたことなどを懐かしんで振り返りました。清田の豊かな自然を語り、「この美しい清田の環境を守っていこう」という結びのあと、森の妖精が舞い踊り、終演となりました。



劇団テアトロ▲  
森の妖精も▼

### 【清田区町内会応援隊の活動中間報告】

清田区町内会応援隊(札幌国際大学プロジェクト演習 飯田チーム)

札幌国際大学町内会応援隊が、これまでの活動を中間報告しました。急速に高齢化する清田中央地区で、町内会の活動を盛り上げるために、誰もができる地域のちょっとした活動に参加しています。これまで、ラジオ体操、夏祭り、子どもの安全を守る活動を行っており、フォーラムの後も、サンタファンへの参加や除雪ボランティアの参加などの活動を予定しているそうです。



▼清田区町内会応援隊の発表の様子



## 第2部 【情報提供：清田区の軌跡】

清田区が誕生してからの18年間の土地利用の移り変わりや、人口の変化などを振り返りました。



▲データで見る清田区の変化



▲話し合う4つのテーマ

### 【アイディアトーク】

参加者が4つのテーマの中から興味のあるテーマを選んで意見交換をしました。

- ①若者：若い世代のまちづくりへの参加をどう高めるか
- ②魅力：清田のいいところ&魅力って？
- ③歴史文化：清田の歴史をふまえて、新しい“文化”をどうつくるか？
- ④コミュニティ：地域の身近なつながりを高めていくには？



▲意見交換の様子



それぞれのブースに分かれた後、各グループの司会進行役がテーマを説明し、参加者から出た意見を大きめの付箋に書いて、ホワイトボードに貼っていきました。意見を整理しながら重要なキーワードを絞り込み、最後には、各自が思う優先事項を投票しました。投票結果や意見交換で出された意見をまとめ、全体に向け発表し参加者全員で各テーマの意見を共有しました。



▲みんなの意見でびっしり

## それぞれのテーマで出た意見

### ① 若い世代のまちづくりへの参加をどう高めるか？

- ・授業の一環として参加してもらう仕組み
- ・町内会活動をしっかりPRして参加につなげる
- ・小中学校との連携
- ・大学の授業との連動
- ・若い世代向けまちづくり講座・支援
- ・若い世代向け行事  
→雪あかりからまちづくりに参加する
- ・楽しいまちづくりを行う

### ② 清田のいいところ&魅力って？

- ・清田の魅力は、川や木、花などの自然
- ・住み良いまち～永住したくなるまち
- ・清田の人はやさしい人が多い・人づくり
- ・人がやさしい・若くて活気がある
- ・食・農がたくさんある  
→清田の魅力として広げていく
- ・スポーツが身近にある・健康になれるまち
- ・子育てがしやすいまち
- ・自然が豊かである

### ③ 歴史をふまえて、新しい文化をどうつくるか？

- ・地域の歴史資源はある  
発掘→みがき→発信
- ・今ある場所で体験できるミュージアム
- ・歴史を伝えるガイドやおしゃべりの場が必要
- ・清田のお祭りに参加できるようにする
- ・マンガやガイドブックで情報発信
- ・留学生から見た清田区のおすすめ

### ④ 地域の身近なつながりをどう高めるか？

- ・多世代が知り合う  
あいさつから  
地域で子供を見守る
- ・近所（町内会）でのつながり
- ・防災を意識したつながり  
防災訓練などを通じて
- ・子育てのつながり

# 清田区民フォーラム 意見交換のまとめ

## 20周年に清田区が目指す姿のイメージ

ネクストきよたを  
考える切り口

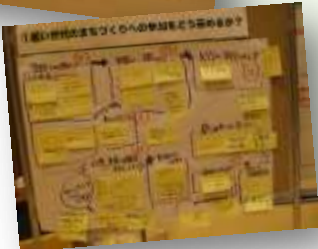
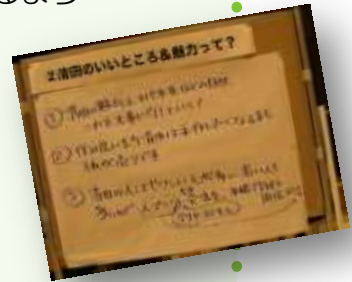
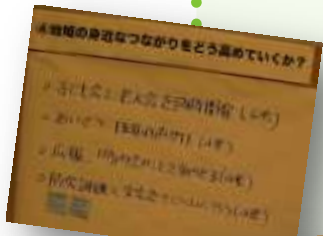
若者

魅力

歴史  
文化

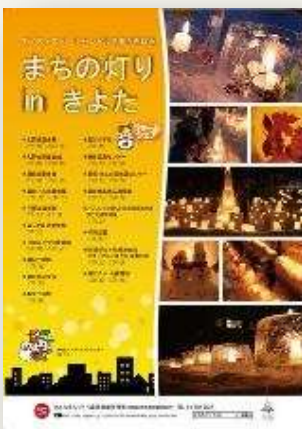
コミュニティ

- \* 清田区の魅力は「人・自然・農（食）」
- \* 「歴史や資源」を知ってもらうミュージアムのまち
- \* 清田区で「まちづくり教育」の推進
  - \* 小中学校、高校、大学と連携してまちづくり教育を推進するまち
  - \* 清田の若い世代はまちづくりに参加するのがあたりまえ
- \* 「多世代交流」のまち
  - \* あいさつから、子ども会高齢者の交流会など
  - \* 清田の歴史と関係するお祭りへの参加
  - \* 楽しいまちづくりイベント
  - \* 伝わるまちの**情報発信**（発掘→みがく→発信）



## まちの灯り in きよた

今年も、区内各地がアイスクャンدلやスノーキャンدلで彩られました。各会場の様子は、清田区等のホームページをご覧ください。



区民会議は、どなたでも傍聴できます。  
 会議の開催予定や検討内容、フォーラムの開催結果などは、ホームページからご覧いただけます。  
 区民会議の活動についてご意見があれば、事務局までお寄せください。  
 FAX889-2701 メール kiyota.shinko@city.sapporo.jp

きよたまちづくり区民会議 検索